

■鍋島勝茂 武将，初代佐賀藩主。長期にわたって藩政整備，島原の乱で拔駆けし軍令違反で蟄居も，地元では武勇伝。

なべしまかつしげ

石山合戦終・1580＝ 肥前国佐賀で，石井忠常の娘を母に， 龍造寺隆信の筆頭家臣鍋島直茂の長男に生まれる。
全盛期の龍造寺隆信の次男江上家種の養子に入るが，

本能寺の変・1582＝ 2歳：

長久手の戦・1584＝ 4歳：この年，隆信が戦死したこともあって，

まもなく解消し，

・・・1589＝ 9歳：

秀吉全国統一1590＝10歳：人質として大坂へ上り，豊臣秀吉に仕えて可愛がられ，

文禄の役・1592＝12歳：文禄の役では，秀吉の名護屋城入りに随行，

関白秀次事件1595＝15歳：秀吉の養女となった戸田勝豊の娘と結婚し，従五位下信濃守に叙される。

慶長の役・1597＝17歳：慶長の役に出陣し，

豊臣秀吉没・1598＝18歳：秀吉の死去で撤兵，

関ヶ原の戦・1600＝20歳：*関ヶ原の戦では，初め西軍に属したが敗戦し，井伊直政や黒田長政の斡旋で徳川家康に謝罪。西軍立花宗茂を筑後国柳川城に攻めた功によって肥前国を安堵される。

徳川家康隠居1605＝25歳：妻が死去したため，徳川家康の養女となった岡部長盛の娘と再婚，

家康駿府退隠1607＝27歳：*龍造寺高房が妻を殺して自刃，その父政家も病死して龍造寺本家が断絶したため，同家の家督を継承して鍋島佐賀藩が成立，初代藩主となる。

山田長政渡航1611＝31歳：新装なった佐賀城本丸に入り，

総検地後の家臣知行地の大規模な割り変えなどで藩主の権威を確立，子らに鍋島分家を創設させて強化安定を図り，成富兵庫が主導する水利事業や法令整備”島の子御帳”によって，藩政の基礎を固めて行く。

徳川家康没・1616＝36歳：

寛永寺創建・1625＝45歳：

この間，高房の遺児伯庵が龍造寺家再興を幕府に訴えるも，幕府が無視して，藩政は揺るがず，

徳川秀忠没・1632＝52歳：

鎖国令Ⅱ・1634＝54歳：

参勤交替始・1635＝55歳：嫡男が疱瘡で死去したため，孫の成長待つことになる。

島原の乱始・1637＝57歳：*島原の乱では大軍を動員し，総攻撃の際に家臣が(勝茂本人説も)一番乗りを果たそうと抜け駆けして軍令違反とされ，幕府から蟄居を命じられるも，藩では武勇伝となり，

家光鎖国完成1641＝61歳：

寛永飢饉終・1643＝63歳：

徳川家光没・1651＝71歳：

承応事件・1652＝72歳：

江戸城普請などの負担で借財に苦しみながら，最期まで藩政を担い，

明暦の大火・1657＝77歳：孫に家督を譲って，没した。